

始動した同志社ローム記念館・情報メディア館 オープニングイベント

10月に同志社ローム記念館・情報メディア館のオープニングイベントが開催された。第1弾はデジタルアート展「JOUABLE」を10月4～19日まで開催。劇場空間、展示コーナー、特設ブースを中心にユニークなデジタルアート作品が並べられ延べ約3000人の観客でにぎわった。10月11日には劇場空間で伝統文化と先端技術をミックスする実験空間であるモーションキャプチャー実験スタジオを開催。劇場空間に陣取った観客は伝統芸術とモーションキャプチャーのバーチャル空間の融合という不思議な世界を味わっていた。



「一神教学際研究センター」 開設記念講演会



一神教学際研究センターでは、10月11日今出川校地で、「日本の精神性と一神教世界」をテーマにソニー株式会社上席常務である土井利忠氏、東京大学名誉教授の板垣雄三氏を招いて開設記念講演会を開催した。いずれの講演も日本社会への精神宗教観を批評し、反省を促すものであり宗教理解の関心を啓発するというもので、講演の後には活発な質疑応答があり入場者の関心の高さを示した。入場者約150人。

スポーツ政策シンポジウム 「日本の野球を考える」

12月6日、総合政策科学研究科と政策学部（2004年4月開設）の共催で「日本の野球を考える—その法的位置と社会貢献—」をテーマに今出川校地で開催された。パネリストには本学出身の野球関係者である片岡篤史氏（阪神タイガース）、宮本慎也氏（ヤクルトスワローズ）の現役選手を含めて5人が招かれ、それぞれの立場から活発な議論が繰り広げられ、今後のスポーツ文化の環境整備の問題点とその解決の指針が示された。入場者約900人は最後まで熱心に聞き入った。



高大連携教育プログラムがスタート

高校と大学とが連携して高校生に教育を行うプログラムが広がっている。商学部では法人内四高校の3年生を対象として「基本商業簿記」の講義を10月開始した。受講生も約280人と大いに人気を集めている。授業は高校生の活気と熱気に満ちている。

(本文、48頁参照)



同志社中高サッカー部選抜チーム英国遠征



同志社として初のこころみとなる中高選抜チームによる英国遠征が8月22～30日に行われた。プレミアリーグ観戦、ウェストハムアカデミーのプロコーチによるトレーニング、チェグウィル、イートン校などとの親善試合を行った。各中高生が仲良く、勝利に向けて努力し、お互いの親交を暖めるとともに、充実した国際交流の輪が広がった。